

## 本の紹介

### 走れメロス 〔太宰治〕

恋をしたのだ。そんなことは、全くはじめてであった——。青年の独白から始まる「ダス・ゲマイネ」。かばんひとつさげて、その峠を訪れた。私は、富士に化かされた(「富嶽百景」)。朝、目を覚ましてから寢床に入るまで、少女の心理を鮮やかに捉える「女生徒」。そして、命を賭けた友情をきりと描いた永遠の名編「走れメロス」。九つの物語が万華鏡のようにきらめく短編集。

### ピタゴラ装置はこうして生まれる 〔佐藤雅彦+ユーフラテス〕

見るものの目を捉えて離さない「ピタゴラ装置」。

そのおもしろさの秘密は、「作り方を作る」という考え方にありました。

これまでの「ピタゴラ装置DVDブック」シリーズは、個別のピタゴラ装置について解説してきましたが、今回のDVDブックは、それらピタゴラ装置全体を貫いている、「考え方」や「テーマ」という大きなカテゴリーについて解説しています。

この映像を見て、ブックの解説を読めば、ピタゴラ装置の魅力の秘密がより一層分かることまちがいないです!

カバー裏にこっそり隠れているおまけコンテンツもお見逃し無く!

※ブルーレイディスクが付いています。

### 考えの整頓 〔佐藤雅彦〕

NHK教育テレビ『ピタゴラスイッチ』、『0655／2355』などを生み出し、また、東京藝術大学大学院映像研究科教授でもある著者の、『暮しの手帖』大人気連載「考えの整とん」が単行本になりました。ともすると見過ごしがちな、日々の不可解なことを独自の分析で考察した27篇です。誰も考えもしなかった物事の本質にじっくりと迫り、思いもよらない考え方をハッと気づかせてくれる、面白くて鋭い名文の数々です。

### 楽隊のうさぎ 〔中沢けい〕

「君、吹奏楽部に入らないか?」「エ、スイソウガク!?」—学校にいる時間をなるべく短くしたい、引っ込み思案の中学生・克久は、入学後、ブラスバンドに入部する。先輩や友人、教師に囲まれ、全国大会を目指す毎日。少年期の多感な時期に、戸惑いながらも音楽に夢中になる克久。やがて大会の日を迎え…。忘れてませんか、伸び盛りの輝きを。親と子へエールを送る感動の物語。

### 注文の多い料理店 〔宮沢賢治〕

これらのちいさなものがたりの幾きれかが、おしまい、あなたのすきとおったほんとうのたべものになる

ことを、どんなにねがうかわかりません——生前唯一の童話集『注文の多い料理店』全編と、「雪渡り」「茨海小学校」「なめとこ山の熊」など、地方色の豊かな童話19編を収録。賢治が愛してやまなかった“ドリームランドとしての日本岩手県”の、闊達で果敢な住人たちとまとめて出会える一巻。

## 県立再チャレンジ高校　〔黒川祥子〕

小学校・中学校では「うまくいかなかった」子どもたち——そんな彼らのために設立された“やりなおしの高校”(再チャレンジができる学校)で繰り広げられた教師と生徒の葛藤、魂のぶつかりあい……  
・日本に本当に必要なのは進学校だけじゃない。苦しい生徒に寄り添い続ける、こんな学校なんだ!  
卒業後の居場所かつて「底辺校」と呼ばれていた高校を「生徒の居場所となる学校」に変えていく——すべては教師たちの情熱から始まった。実話を元に描いた感動の物語。

## 星の王子さま　〔サン＝テグジュペリ〕

いちばんたいせつなことは、目に見えない

世界中の言葉に訳され、70年以上にわたって読みつがれてきた宝石のような物語。今までで最も愛らしい王子さまを甦らせたと評された新訳。

これまでで最も愛らしく、毅然とした王子さまが、優しい日本語でよみがえります。世界中の子供が、そして大人が読んできた。世紀を越えるベストセラー。

砂漠に飛行機で不時着した「僕」が出会った男の子。それは、小さな小さな自分の星を後にして、いくつもの星をめぐるから七番目の星・地球にたどり着いた王子さまだった。

一度読んだら必ず宝物にしたくなる、この宝石のような物語は、刊行後六十年以上たった今も、世界中でみんなの心をつかんで離さない。最も愛らしく毅然とした王子さまを、優しい日本語でよみがえらせた、新訳。

## 有頂天家族　〔森見登美彦〕

「面白きことは良きことなり!」が口癖の矢三郎は、狸の名門・下鴨家の三男。宿敵・夷川家が幅を利かせる京都の街を、一族の誇りをかけて、兄弟たちと駆け廻る。が、家族はみんなへなちょこで、ライバル狸は底意地悪く、矢三郎が慕う天狗は落ちぶれて人間の美女にうつつをぬかす。世紀の大騒動を、ふわふわの愛で包む、傑作・毛玉ファンタジー。

## 君の名は。　〔加納新太、新海誠（原作）〕

東京に暮らす男子高校生・瀧は、夢を見ることをきっかけに田舎町の女子高生・三葉と入れ替わるようになる。慣れない女子の身体、未知の田舎暮らしに戸惑いつつ、徐々に馴染んでいく瀧。身体の持ち主である三葉のことをもっと知りたいと瀧が思い始めたころ、普段と違う三葉を疑問に思った周りの人たちも彼女のことを考え出して一。新海誠監督長編アニメーション『君の名は。』の世界を掘り下げる、スニーカー文庫だけの特別編。